Infectious Diseases Weekly Report

IDWR HIROSHIMA City 広島市感染症週報

2015年第1週（12月29日～1月4日）

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

■コメント

第1週は、定点医療機関が年末年始休診のため、各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況」（下表）の発生記号の表示を行っていません。

・インフルエンザ、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は多い状態が続いていると考えられます。

・インフルエンザは、昨年第51週に注意報レベルを超え、年末にかけて報告数が急増しましたが、学校が冬休みに入ったため報告数は少なくなっています。しかし、これまでの過去の例から、学校が始まると再び流行が拡大すると予測されます。

・寒い日が続いていますので、健康管理に十分注意し、手洗い・うがいの励行、咳エチケットなど、感染症予防を心がけましょう。

感染症情報等の詳細は以下のホームページ（広島市感染症情報センター）を参照してください。
http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html

■定点把握感染症報告状況（週報対象）

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均（注）	発生記号
インフルエンザ	インフルエンザ	252	6.81	2.67	
小児科	咽頭結膜熱	1	0.04	0.19	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	0.42	0.57	
小児科	感染性胃腸炎	67	2.79	8.07	
小児科	水痘	7	0.29	1.69	
小児科	手足口病	1	0.04	0.11	
小児科	伝染性紅斑	－	－	0.11	
小児科	突発性発しん	2	0.08	0.31	
小児科	百日咳	－	－	0.13	
小児科	ヘルパンギーナ	－	－	－	
小児科	流行性耳下腺炎	7	0.29	0.55	
小児科	RSウイルス感染症	8	0.33	0.91	
眼科	急性出血性結膜炎	－	－	－	
眼科	流行性角結膜炎	3	0.38	0.69	
基幹	細菌性髄膜炎	－	－	－	
基幹	無菌性髄膜炎	2	0.29	0.07	
基幹	マイコプラズマ肺炎	－	－	0.34	
基幹	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	－	－	－	
基幹	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	－	－	／	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1：2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1：1.5～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1：1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数（小児科定点を含む）	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

（注）過去5年間の同時期平均（定点当たり）

■全数把握感染症報告状況

報告はありません。

■定点把握感染症報告状況（週報対象）の推移

			インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎（ロタウイルス）
報告数	広島市	第49週	74	5	108	242	19	21	−	12	1	2	22	28	−	6	−	−	1	−	−
		第50週	154	4	100	319	17	36	−	11	−	3	32	27	1	13	−	1	2	−	3
		第51週	434	8	97	326	13	29	−	6	2	2	29	28	1	2	−	−	2	−	−
		第52週	888	2	69	332	20	28	1	10	−	2	13	26	−	2	−	1	3	−	−
		第1週	252	1	10	67	7	1	−	2	−	−	7	8	−	3	−	2	−	−	−
定点当たり	広島市	第49週	2.00	0.21	4.50	10.08	0.79	0.88	−	0.50	0.04	0.08	0.92	1.17	−	0.75	−	−	0.14	−	−
		第50週	4.16	0.17	4.17	13.29	0.71	1.50	−	0.46	−	0.13	1.33	1.13	0.13	1.63	−	0.14	0.29	−	0.43
		第51週	12.06	0.35	4.22	14.17	0.57	1.26	−	0.26	0.09	0.09	1.26	1.22	0.13	0.25	−	−	0.29	−	−
		第52週	24.67	0.09	3.00	14.43	0.87	1.22	0.04	0.43	−	0.09	0.57	1.13	−	0.25	−	0.14	0.43	−	−
		第1週	6.81	0.04	0.42	2.79	0.29	0.04	−	0.08	−	−	0.29	0.33	−	0.38	−	0.29	−	−	−
	全国	第51週	15.17	0.65	2.89	11.49	1.26	0.70	0.36	0.44	0.01	0.06	0.32	2.38	0.01	0.54	0.01	0.03	0.31	0.01	0.09
		第52週	26.63	0.55	2.31	10.26	1.09	0.58	0.32	0.39	0.01	0.05	0.31	1.95	0.01	0.54	0.01	0.01	0.28	0.02	0.06

■新たに判明した病原体検出状況

新たな検査結果はありません。

【参考】レジオネラ症の発生動向について

図1　レジオネラ症の年間報告数の推移

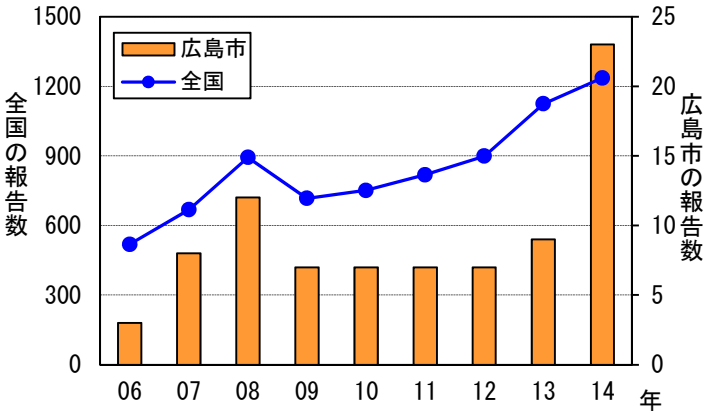
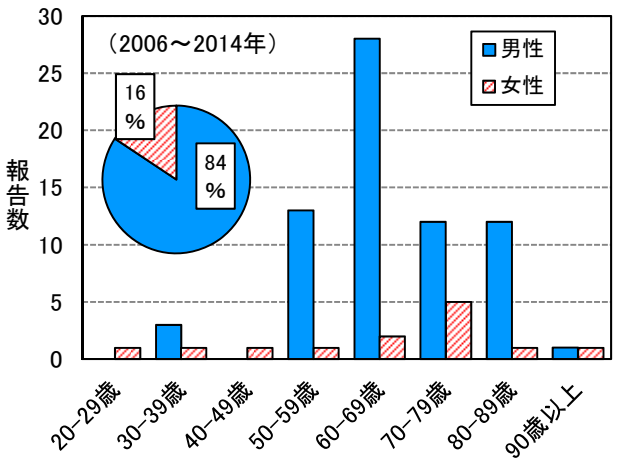


図2　広島市におけるレジオネラ症の男女別・年齢階層別報告数



レジオネラ症の広島市における報告数が、2014年は23件となり、これまでの年間報告数の最高値（2008年の12件）を大きく超えました。また、全国的にも、年間報告数は増加傾向で推移しています。（図1）

2006年から2014年までの広島市における患者の報告数の男女比は、男性が84%と大半を占めています。また、年齢階層別の報告数は、男性は60歳代、女性は70歳代が最も多く、ほとんどが中高年層となっています。（図2）

感染を予防するためには、不衛生な場所でのエアロゾルの吸入を避けるとともに、感染源となる可能性のある設備（循環式浴槽、ジャグジー、加湿器、冷却塔など）の衛生管理を適切に行い、レジオネラ属菌の増殖を防ぐことが重要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
URL http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html

【問い合わせ先】
広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所　〒733-8650　広島市西区商工センター四丁目１番２号
TEL(082)277-6575　FAX(082)277-5666　E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp